

## 2026 年度 映像分科会概要

担当教員：竹藤佳世・佐藤克則・高桑真恵・中村陽介・中川寛崇・清水俊平先生

映像分科会では、下記に従い映像作品及びそれに関わる制作物を提出する者に「卒業論文および制作」の単位認定を行う。

1. 日程
- ①「作品企画書」提出：2026年4月28日（火）映像分科会 FB グループにデータをアップ。  
<https://www.facebook.com/groups/4187702131446712/> 企画書フォーマットもこちらで提示する。
  - ②企画プレゼン・講評：2026年5月1日（金）予定。「作品企画書」を元に、1作品につき5分を目安にプレゼン。  
映像分科会エントリーの可否について判断するためエントリー希望者は必ず参加すること。
  - ③「エントリーシート」提出：2026年5月15日（金）3号棟事務室（事前の履修登録必須）
  - ④プランニング講評：2026年6-7月（日程別途）シナリオ・構成案・画コンテなどを事前に提出し、講評を受ける。
  - ⑤中間講評：2026年10-11月（日程別途）素材のラッシュチェック、講評を受ける。
  - ⑥完成作品提出日：2027年1月13日（水）・14日（木）
  - ⑦卒制審査会：2027年1月末予定。 ⑧ 卒業制作上映会：審査後、選抜作品で上映会を2027年2月に開催予定。

### 2. 作品提出時の提出物（作品ごとに1セット提出、共同制作の場合は1班1セットで共同提出）

- ①作品概要（別途フォーマット配布）：タイトル、尺、スタッフ・キャストリスト、制作意図等記入。
  - ②映像作品：審査会用にはyoutube限定公開、上映用には下記の高画質ムービーファイルを提出
    - ファイルフォーマット：クイックタイムムービー（.mov）フレームサイズ：1920×1080  
画質 AppleProRes422 以上、NTSC 60i、24p（23.976ps でも可）、30p（29.97fps でも可）のいずれかで書き出し。  
データ頭に黒味5秒（カラーバー、リーダーは入れない）、音は-3db でノーマライズすること。
    - ファイル名：正確な「作品名」をファイル名にすること。（省略したり、監督名・班名などをファイル名にしない）
- ※シナリオを完成作品とする場合は、以下のフォーマットで提出すること。
- シナリオ：(1)表紙に人物表（各1枚）・(2)梗概 800 字程度・(3)本文 40 枚程度（1 ページ 17 行・1行 30 字）・  
(4)シナリオ中の1シーンを映像化したムービー（映像フォーマットは上記映像作品に同じ）を提出すること。

3. **レポート提出（全員個人単位で提出）**：完成作品提出日に「卒業制作映像分科会レポート」として、卒業制作を通じた研究課題への取り組み、学んだ点、反省点など具体的にした上で**800字以上のレポート**を作成すること。各自研究課題をタイトルにつけ、共同制作にスタッフとして参加した場合、スタッフとして自分がどの役割を担当し、どんな作業を担当したか。そしてその作業をどのように自己総括するかをきちんとまとめること。

【全 般】日本語横書、A4 版、40 字×36 行。

【投稿区分】1 行目に左寄せで投稿区分とゼミ指導教官を〈〉（山かっこ）を付けて記す。

【題 名】2 行目に題名を書く。副題があれば次の行に書く。 【学籍番号・氏名】題名から1行空けて書く。

【作品名・役割・参加部署など】自分の関わった作品名、自分の役割。 【本文】作品名から1行空けて始める。MS 明朝 10.5pt。

〈卒業制作映像分科会レポート・プロジェクト研究E 指導教員 佐藤克則先生〉

### 「演出における構成の重要性について」

XA2023-001 城西 花子

【作品名・役割】「エゾシカと生きる」ディレクター・構成

#### 1. はじめに

私が映像作品における構成の役割について、作品制作を通じて学んだことは・

また各講評会に出席の上、毎回レポートフォームを提出すること。講評会への出席やレポートの提出がない場合「卒業制作映像分科会レポート」の文字数を増加する場合がある。

### 4. 注意事項

- 制作内容・スケジュール等については、事前に指導教官と十分に相談し、安全性に留意し、無理のない計画をたてること。
- 他者の著作物の使用（映像・画像・音楽・小説・写真等）や肖像権などに十分留意すること。必要に応じ適切に権利処理を行ない卒業上映会（you tubeライブ配信も含める）での発表ができるようにすること。